(【【 チューモくん日記 #これも教材に~バービー人形~

秋田県立視覚支援学校オリジナルキャラクターのチューモくんで す。

**このシリーズでは、本校で教材として使ってきたものや教材になり** そうなものを紹介していきます。

今回は、誰もが知っているバービー人形です。

1959年にアメリカのマテル社から発売された着せ替え人形バービーは、世界各国で販売されていますが、2019年から発売されている「バービー ファッショニスタ」という製品群では、さまざまな肌の色、目の色、髪の色や質感、体型、障害、ファッションなどの人形を展開しています。

これまで、日本で発売された、障害のあるバービーは、車いすに乗ったもの、補 聴器を付けたもの、ダウン症の特徴をもったものの3種類。



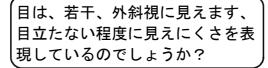
そして、今年(2024年)8月末には、白杖を持ったバービーが数量限定で発売となりました(日本では未発売ですが、このほかに、義足のバービーも存在しています)。

「バービー ファッショニスタ ラベンダーピンク」という名前のこのバービーには、白杖とサングラスが付属しています。



白杖を持ったバービーは、視覚障害がある子どもたちに遊んでもらうことも想定しており、背面の面ファスナーを濃いピンクにして視認性を高めたり、スカートに伸縮性のあるウエストバンドを付けたりしたことで、視覚障害があっても着せ替えしやすくなっています。また、スカートは手触りを感じやすいフリル素材で、パッケージ表面には点字で「Barbie」と記されています。

白杖を操作するために、肘関節が 曲がるようになっています。





現在、本校では、人形遊びをするような年代の幼児児童はいませんが、学習活動 に使えないものかと考えてみました。

視覚支援学校に在籍する児童生徒は、視覚障害について考えることはあっても、他の障害について考える機会はあまりありません。ダウン症の特徴的な顔つきや体型のバービーは、足に補装具を着けていますし、車いすのバービーには、ドールハウスに入るためのスロープが付属しているなど、リアルな部分が多いシリーズですので、見比べ、触り比べることで、他障害への理解を図るきっかけにできないものかと考えています。

また、インクルーシブな社会に向けての啓発ということで、 校外での障害理解授業等で利用することもできるのではないか とも考えています。



(追記) 2025年8月現在、日本でも、バービーデラックススタイルのシリーズからローズモチーフルックという義足のバーバーが販売されています。また、同年7月には、アメリカで、持続血糖モニターやインスリンポンプを身につけている | 型糖尿病のモデルも発売になりました。